

原材料まで追える 唯一無二のブランドを目指して ファッションワールド東京に初出展

国産生糸シェア率1%未満、国産シルクで取り組むサステナビリティ

ファッションワールド東京：2025年3月26日（水）～28日（金）



東京ビッグサイトで開催される「ファッションワールド東京（デザイナーズゲート）」に、国内の養蚕農家とタイアップしたアパレルブランド「Cafco.dalla（カフコ・ダラ）」（以下本ブランド）が初出展。かつて日本の主要産業であった養蚕業に再び光を当て、サステナブルな未来のファッションを提案します



国内の養蚕農家と連携し、原材料からのものづくり

時代の変遷とともに衰退した養蚕業。本ブランドの拠点愛知県豊田市でもかつて養蚕が盛んに行われていました。原材料から各工程を追うことは難しいと言われる中、本ブランドは豊田市の養蚕農家とタイアップし原材料からのものづくりに挑戦しています。（現在は一部に国産シルクを使用）

伝統工芸の技が息づく、透明性の高いプロセス

本ブランドのアイテムは、日本各地の職人たちの卓越した技術によって生み出されています。すべての工程を明確にし、ものづくりの透明性を大切にしていることも、本ブランドの特徴です。



長野県岡谷市の製糸



京都西陣の製織



兵庫豊岡の鞆縫製

ファッションワールド東京で、国産シルクと伝統工芸の魅力を国内外に発信

素材やものの作られ方を知ることは、消費者が実践できる最も身近なサステナブルな行動のひとつです。本ブランドは、「命から始まるストーリー」というコンセプトのもと、商品の製造過程や背景を伝えることでより持続可能な選択を提案しています。ストーリーとともに、国産シルクや伝統工芸の魅力を現代のファッションに溶け込むアイテムとして、国内外に向けて提案・展示いたします。



経験・知識・人脈・資金、すべてゼロからの挑戦！ 主婦でもある愛知の女性起業家2人の挑戦

「着物一反にお蚕さんの命約3,000頭」という事実に衝撃を受け、シルクに興味を持つ。業界の厳しさにぶつかりながらも、2022年にクラウドファンディングでローンチ。代表の蓮尾智紗子（左）とスタイリストの平賀万美子（右）の二人で運営。

ブランドHP

